

EMI クランプ

TKT-10

CISPR 適合品

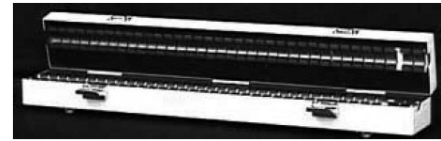
TKT-10 は CISPR (国際無線障害特別委員会) が規定した測定法に適合した、妨害波強度測定器と併用して、妨害波を発生する機器から、その電源供給線およびそれ以外のリード線を通して漏洩する VHF、UHF 帯の妨害電力を測定する EMI クランプです。

なお、併用する弊社の妨害波強度測定器 (TNM-5001 および TNM-5002) に、本器の補正係数をあらかじめ登録することにより、キー操作により自動加算が可能で妨害波電力の直読測定ができます。

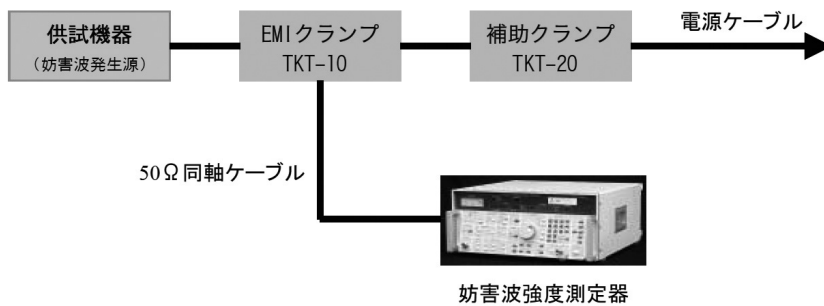
妨害波電力 = クランプ出力電圧測定値 + 補正值

$$\left[\begin{array}{l} 1\text{pW を } 0\text{dB} \\ \text{とした dB 値} \end{array} \right] \quad \left[\begin{array}{l} 1\ \mu\text{V を } 0\text{dB} \\ \text{とした dB 値} \end{array} \right] \quad (\text{dB})$$

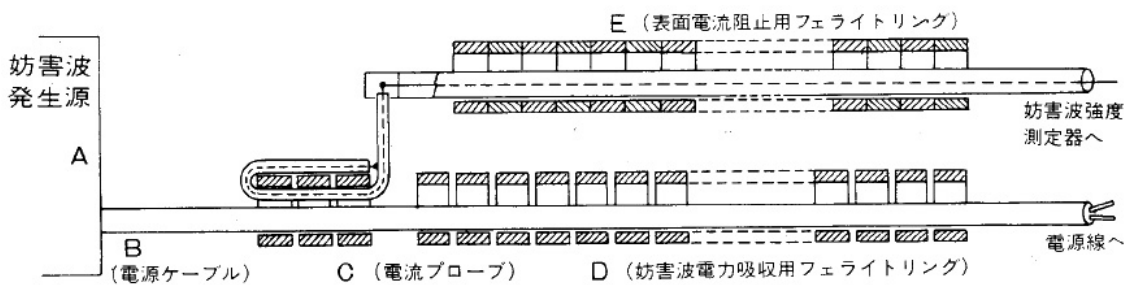
注：この場合に使用する妨害波強度測定器は、入力インピーダンスが 50 Ω で、諸性能は CISPR を満足していることが必要です。



組合せ測定方法例



クランプの構造



仕様

項目	型名	TKT-10
周波数範囲		30MHz ~ 1000MHz
出力端子の負荷インピーダンス		50 Ω (併用する妨害波強度測定器の入力インピーダンス)
測定できる電源ケーブルの太さ		約 20 φ mm まで (被覆を含む外径寸法)
寸法		636 (W) × 75 (H) × 90 (D) mm
重量		5.5kg
付属品		同軸ケーブル (NP-3D2W-BNCP, 5 m) 1

※旧協立電子工業製の妨害波強度測定器の KNM-5001、KNM-5002、KNM-6001 もご使用いただけます。

受注生産機種